

2006 年度

科目名 人間と社会 B	対象学科・学年 文学部コミ 1 回生 人間人社 1 回生	担当者 岡島 克樹
授業テーマ われわれは現代の日本社会をどのように生きればいいのか？		
授業の概要と目標 数多くの社会学者の指摘を待つまでもなく、1990 年代後半までの日本と 1990 年後半以降の日本は異なる。ビジネスの世界も大学も、そして家庭も性までも、大きく変化している。1990 年代後半に起こったこととは何か？1990 年代後半以降に生きるわれわれに求められるものとは何かを考える。		
評価方法 期末レポートを読んで判断する。		
テキスト 適宜コピーして配布する。	著者	出版社
参考書 適宜指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. イントロダクション 2. 1990 年代以降の大学に求められるものとは何か？—小中高校と大学の違い・1990 年代後半以前の大学と以降の大学の違い 3. 日本における近代国民国家の形成—「同質」社会の形成と完成、そして行き詰まり 4. つづき 5. つづき 6. 論点 1：「金八」「ヤンキー先生」「夜回り先生」「ごくせん」の人気の秘密 7. つづき 8. 論点 2：ニートは何故増えるのか？ 9. つづき 10. 論点 3：HIV を含む性行為感染症や望まない妊娠が増えるのは何故か？ 11. つづき 12. 論点 4：家庭の崩壊？ 離婚の増加は何故起こるのか？ 13. つづき 14. レポート作成上の留意点（重要） 15. まとめ：日本社会の特徴と変遷、岡島担当の他科目との関連		